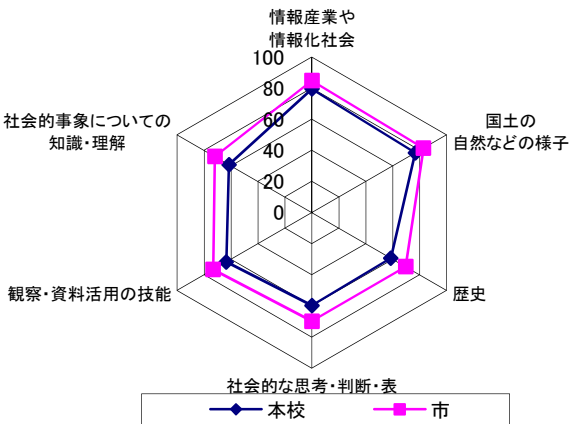


宇都宮市立御幸が原小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	79.4	84.7
	国土の自然などの様子	76.7	82.7
	歴史	58.5	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	59.8	69.9
	観察・資料活用・技能	63.5	73.3
	社会的現象についての知識・理解	61.5	71.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	正答率が80%を下回っており、定着が不十分である。情報についての内容は、学級活動や道徳の授業でも取り上げているが、その効果もあまり出ていないと考えられる。	これから児童を取り巻く環境を考えると、情報を取捨選択し活用していく能力がますます必要となる。携帯電話やインターネットの使用法を含め、正確な情報を判断し、取捨選択していく能力を高めさせたい。
国土の自然などの様子	正答率が80%を下回っており、定着が不十分である。森林の問題は資料の読み取りであったが、その内容がよく理解できない児童がいたと考えられる。	5学年の社会科では、工業や農業に関する内容を苦手としている児童が多いので、中学校に向けてプリント等で復習したい。
歴史	正答率が60%を下回っており、市の平均と10点以上の開きがあり、定着が不十分である。人物とその人物が行ったことが結びついていない児童が多い。特に戦国時代以降の内容の定着率が悪い。	6学年の社会科の内容は質、量ともに豊富であり、興味関心が低い児童は、特に定着していないようである。その反面、学習内容に興味のある児童はよくできているので、いかに興味を高めるかが課題となる。テスト前の復習が大切であるが、その他小学校向けの歴史上の人物に関する本などを読むことを奨めたい。